

# はろけい シルバー 人オセンター

令和4年(2022年)  
夏号 No.127



## もくじ

- 定時総会報告 / 会員永年表彰 ..... 2  
理事会だより / 新規会員獲得イベント
- 新理事あいさつ / 私の趣味 ..... 3
- ほたる鑑賞会 / 玉櫛 SL まつり ..... 4  
こども食堂 / そばだより
- 在り方研修 / 安全適正就業通信 ..... 5  
職員対象草刈り機講習会 / 新広報委員あいさつ
- ひろば / クイズ / マスター会員養成講座 ..... 6  
LINE 公式アカウント登録者募集 / 日本画展  
ドローンクラブ活動 / 編集後記

初夏、お堀に浮かぶ黄金の船を眺めて一句

風もなく

城巡りと 金の船

気分は秀吉! 「大阪城御座船」で小さな旅

写真・俳句 浅川 八重子氏 提供

silver



## 令和4年度 定時総会開催される

会員の健康を最優先に。地域に対する支援・発展等へ積極的に寄与する運営

令和4年度の定時総会は、6月2日、茨木市市民総合センターにおいて、新型コロナウイルスの感染防止対策のため、書面による議決権の行使を認め、役員以外の方の会場への参加は極力控えていただき、開催されました。

当日は、委任状・議決権行使書を含め、出席議決権数が総会成立要件を満たしていることを確認し、令和3年度事業報告・令和3年度収支決算・役員選任の3件の議案が提出され、質疑応答の後、



コロナ禍3年目となった定時総会風景

いずれも可決されました。また令和4年度事業計画・令和4年度収支予算について報告されました。

議事・報告の後、表彰等に関する規程に基づき、会員表彰が行われました。15年以上在会し、永きにわたり就業されセンターの発展に寄与された方に感謝の意を表し、理事長より表彰状・記念品が授与されました。最後に全員で記念撮影を行い、滞りなく終了しました。(宮野正)

## 理事会だより

令和4年度第1回理事会(4/22)

### ▼議題

- 令和3年度第3次補正予算(案)
- 令和3年度事業報告(案)
- 令和3年度収支決算(案)
- 令和3年度業務及び会計監査
- 特定費用準備資金の積立
- 令和4年度定期総会の招集事項の決定
- 役員候補者(案)
- 会員表彰に係る同意
- 損害賠償保険契約の内容

## 令和4年度 会員永年表彰



上條政弘さん 86歳 在会年数21年 中央・大池校区

このたび総会にて表彰状をいただきありがとうございます。どうぞいまままでお世話になった先輩方に心より感謝申し上げます。

夜間業務や臨時仕事、公園ごみ回収業務を経て、今は小学校の受付業務をしています。就業以外にも総務委員や中期計画策定検討推

### ▼報告事項ほか

- 諸般の報告
- 正会員の入会状況

新型コロナウイルスによる感染者の増加が止まりません。これまで通りの感染予防をしていただけでなく、特に屋外での作業は、熱中症にも十分注意し、くれぐれも安全第一で業務に邁進していただきますようお願いいたします。

(小西章)

## 新規会員獲得イベント 掛布氏講演会を同時開催!

8月11日に新規会員獲得イベントとしてシルバー人材センターの説明会と、元プロ野球選手のミスタータイガースこと掛布雅之氏の講演会を同時開催します。

昨年の桑原征平氏に引き続き、著名人の講演会とのタイアップとなります。今後も会員獲得に向けて魅力的なイベントを企画していきます。

(萩原啓輔)

### 会員永年表彰の条件

- 年齢85歳以上
- 在会年数15年以上
- 就業中
- シルバーの行事・活動に参加

進委員・地区委員長など、シルバー運営にも携わりました。学習と親睦を深めているパソコン同好会は早や18年目になり、生きがいの充実につながっています。健康にも気をつけていて、食事は朝と夕の2回、用意されたものをいただいています。これからの就業も、共働互助の精神で、誠実に励んでまいります。誠にありがとうございます。







地域啓発行事

### 「ほたるの夕べ」 癒しの世界に千人超!!

6月初旬、「ほたるの夕べ」と題した鑑賞会をセンター2階の大会議室で開催しました。シルバリーの啓発行事で、立地の良い町中開催に加え、新聞折り込みPRが奏功。4日間で延べ1100人が来場し、事務所界限は

連日自転車と人の波であふれました。

用意したゲンジボタルは300匹。1.5メートル、幅50センチの大型ケージにホタルを放ち、鑑賞していただきました。狭い空間でしたが暗闇の中、ホタルが描き出す幻想的な光の世界に、子どもたちや家族連れ、高齢のご夫婦から歓声が。飼育経験がある会員さんへお願いしたガイドも「説明が丁寧」「勉強になった」と好評でした。  
(丸本宙)

### 玉櫛S.Lまつり

#### ポン菓子で会場盛り上げ

玉櫛コミセン前S.L公園で6月5日に行われた「玉櫛S.Lまつり」に今年もシルバリーの啓発を兼ねて企画し、ポン菓子機による実演とお菓子の配布で会場を盛り上げました。コロナに配慮して会場内での飲食は中止となりましたが、地域の各団体が参加し、子どもたちが楽しめる遊びを主体に開催されました。

当日は地元会員の協力で手際よく準備ができ、実演ではかけ声とともにほじけ出るお米と、爆音に負けない子どもたちの歓声と笑顔に満たされた1日となりました。  
(小西昭)

### こども食堂

毎月第3金曜日開催の「こども食堂」。会員ボランティアさんの協力で、温かい食事を提供でき好評です。また、茨木ライオンズクラブ様から寄付金、会員の川畑佳弘さんから自家栽培のスイカの寄付をいただきました。今後もコロナ対策を徹底しながら続けていきます。  
(田中美弥子)



2階会議室での食事風景



好評だった揚げ物メニュー

感動しました  
楽しかった  
～来場者から感謝の声～



ほたるの生態について勉強



写真左から江並、新宮、津田のみなさん

来場者の内訳は、大人が6割強の700人。うち500人から回収したアンケート結果は、8割が「シルバーを知っている」。イベントには「感動しました」「貴重な体験でした」「楽しかった」「来年も」などの言葉があふれ、地域還元の啓発事業は、大きな成果を上げました。(川野正照)



大盛況だった鑑賞会

初夏の風物詩として、北摂各市で催されているホタル観賞会。茨木市でも長年にわたり西河原公園で開催されてきましたが、4年前にその使命を終え、現在市主催では行われていません。

当時、市の委託を受けてホタルの養殖、人工飼育にあたったのが当シルバーです。幸いにもその時の会員さんが在会されており、案内&説明役をお願いして、事務所での開催にこぎつけました。

その“三人衆”が江並武さん、新宮健次さん、津田憲義さん。キャリア10年以上のベテランもいて、まさしく“はまり役”でした。

### そば処 茨木 開店から1年半です



そば打ち体験風景

#### 出張販売、体験教室にも力!

コロナ禍のなか、一昨年末にテイクアウト販売で開店。昨夏、待望の店内食とそば打ち体験教室をスタート。加えて茨木神社や「ほたるの夕べ」など出張販売に力を入れるそば処「茨木」。

今年に入り、さらなる売り上げアップを目指して矢継ぎ早に手を打っています。利用者が多いランチタイムの収容力を増やすため、店内レイアウトを更新。また、人通りのある立地を生かして、歩行者によりアピー

ルする看板を設置しました。来店早々「シルバーさん、こんなこともやってるんや」という会話から始まるお客様もいて、シルバリーの認知度向上に貢献しているなと実感することも。

体験教室には親子連れメインにこれまで37組が参加(6月末)。めん棒でののしから専用包丁での切り作業まで、「分かりやすく、楽しく」をモットーに1時間半、汗を流します。費用1鉢2,500円。

(川野正照)



会員として大切な研修です。

【社会の信頼と期待に応える  
シルバー会員の在り方研修】

活力ある地域社会づくりの担い手として存在価値を発揮できるよう、全会員を対象に、今年も研修会を開催します。

お仕事を紹介する際、研修会の参加の有無を参考にさせて頂いていただくこともあります。**必ず**受講していただきますようお願いいたします。

○今後の研修会開催日程

- 令和4年9月12・13・16日
- 令和4年12月12・13・14日
- 令和5年3月14・15・16日

- 時間…午後2時～午後3時
- 場所…茨木市福祉文化会館 5F文化ホール

※申し込みについてはそれぞれ日程が近づいたら、改めてお知らせします。

(伊澤正喜)



虚偽報告は信頼を失うだけ!!

先ごろ、除草作業中に、走行する車のガラスを大破する事故が発生しました。原因はルールに反した、ずさんな作業です。当事者はそれを隠すため虚偽の報告をし、結果、被害者に嫌悪感を抱かせ、後味の悪い結末をもたらすことになりました。

いまや防犯カメラ、携帯電話、ドラレコなど、「真実」を語る機器類は身近にあふれています。虚偽の報告は、センターの信頼を失墜させ、被害者の心情を傷つけ、当事者の信用を失わせます。当たり前のことですが、センターへは真実のみ報告してください。

安全・適正就業通信

〇守るべき安全就業の心得10カ条！

- 1 日頃から健康管理
- 2 身体的機能の低下を十分に認識
- 3 しつかり睡眠
- 4 作業に適した服装
- 5 始業前には「準備体操」
- 6 作業に必要な道具類の事前点検
- 7 時間も心も余裕をもって
- 8 身の回りは常に整理整頓
- 9 仲間との合図・連絡・安全確認の徹底
- 10 行きも帰りも仕事のうち。交通安全を心がける

《定期的に健康診断を！》

熱中症にご用心

熱中症患者が増加する時期のマスク着用に関する考え方が、一部変更となりました。

【屋外】人との距離(目安2m以上)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

【屋内】人との距離(目安2m以上)が確保できて、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません。

※夏場については、熱中症防止の観点から、屋外ではマスクを外すことを推奨します。(状況により変更される場合があります)

傷害事故発生状況

発生日	職種	就業・途上	事故発生状況
5月1日	駐車場管理	途上	交差点で右折してきた車にはねられ打撲。
5月8日	食器洗浄	就業中	棚の上にある食器かごが頭上に落下し負傷。
5月21日	清掃	途上	歩道段差にハンドルを取られ転倒。左足付け根を骨折。

熱中症かな...と思ったら

- ① 涼しい場所へ移動
  - ② 体を冷やし体温を下げる
  - ③ 塩分や水分を補給
- 重要なことは、すぐに医療機関に相談することです。
- 7月にお届けした熱中症グッズは汗により失われる水分と塩分を手軽に補給できるスポーツドリンクです。汗と一緒に排出されてしまったナトリウムやその他のミネラルも補うことができます。

(伊澤正喜)



職員も草刈り機操作を体験

草刈り機の安全・適正な取り扱いを職員が理解するための講習会が実施されました



職員草刈り機操作風景

4月28日、草刈り機の取り扱い研修を受講し、機械のしくみを理解することができました。操作方法の指導を受け、草も刈りました。地面から、5センチ程浮かせて草を刈る操作が思ったより難しく、チップソーは作業効率が良い反面、石が飛びやすく事故につながりやすいので、ネットをしっかりと防御し、事故ゼロを目指しましょう。

(除草・剪定担当 西田/岡原)

新広報委員あいさつ

経験生かしお役に！

こども食堂のお手伝いをしたいと募集のチラシを見てセンターを訪ね、地域の出張説明会にも参加して、この1月に皆さんの仲間に入れていただきました。それから半年後に、広報の手伝いを頼まれるとは思いませんでした。

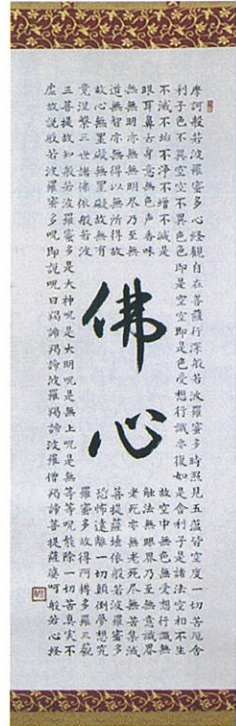
まだ右も左も分かりませんが、長年会報作りに取り組んだ経験を生かして、皆様のお役に立ちたいと思っています。(岩井洋子)





茨木市書道展にて受賞された作品

会員 田中 そや子



事務局だより

センター運営について意欲的に学んでいただき、今後の組織の中心となって、それに携わり、積極的に活躍していただける会員を募

マスター会員養成講座スタート

集したマスター会員養成講座。7月に第1回の講座が開催され、3人の会員が参加しました。

(萩原啓輔)

第33回クイズ

日本の四季を彩る五節句の一つ。これって何か分かるかな？

(ヒント)

- 夏の大三角形と呼ばれる星群。
● 古来、神事などに使う高貴な布を織る行為。棚機とも書く。
● 8月上旬の杜の都の祭りが有名。(回答はこのページ)

皆さんの仲間(会員数)

Table with membership statistics: 6月30日現在, 男 1062人, 女 528人, 計 1590人

登録者募集中!

LINE公式アカウント

5月中旬に開設された「LINE公式アカウント」の登録者を募集しています。会員の皆様へ事務局からのお知らせやイベント情報を送信します。

7月の研修会のお知らせを送信した際には、スマホから研修会の申し込み可能なご案内をしました。今後も会員が便利になるようなシステムを導入していきます。

(萩原啓輔)

LINEのご登録はこちらのQRコードから



日本画の展覧会の開催案内!

11月25・26・27日に当人材センター役員の本川監事が所有する日本画の展覧会をセンター事務所で開催します。

今回は京都画壇を中心に30点の作品を展示する予定です。見所は18世紀の京都で活躍した伊藤若冲の新春鶏図です。



伊藤若冲画 新春鶏図

なお、展示会をお手伝いいただける会員は事務局までご連絡ください。(萩原啓輔)

ドローンクラブ活動

昨年10月に発足したドローンクラブ。月1回、毎回10名ほどの会員がリース用ドローンで練習をしています。近々、新型ドローンを導入予定です。操縦技術を高めて、ドローンの仕事依頼にも対応できる資格取得を目指してほしいと思います。(萩原啓輔)

藍野大学から講義依頼

医療系スペシャリストの養請で定評のある学校法人藍野大学から、会員の佐々木空子さんに特別講義の依頼が寄せられました。核家族化で高齢者と接する機会が少ない学生たちに、シルバー世代の考え方や接し方などご自身の体験・経験談を語られました。

編集後記

コロナがまだまだ収まったわけではないけれど、感染防止の対策もとられるようになり、各自の注意すべきルールも定着してきました。シルバーの行事も少しずつ可能になり、機関誌でも紹介記事を載せることができるようになりました。

6月の「ホテルの夕べ」の鑑賞会は、親子連れや、三世代の方々が一緒に心温まる姿を見る機会になりました。イベント開催者として、多勢の参加者に驚きや喜びと共に、アンケート回答から伺えた「絆」にやりがいを感じました。

時代とともに、価値観も人間関係も変わると思われますが、人と人との直接的な喜怒哀楽に「喜」愛することも、また味のあることではと思う今日この頃です。(橋本由紀子)

作品募集してます!!

表紙写真・川柳・俳句・短歌・絵手紙・書道作品など気軽に心募ください。事務局(萩原)まで。

タマ:えまのこ